

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 急性冠症候群患者における尿中好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリンN-galの予後予測マーカーとしての有効性

・目的：急性冠症候群患者における尿中好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリンと心筋障害・腎機能障害等との相関、さらに N-gal と臨床転帰との相関を調査すること。

- ・研究期間： 承認日～2026年3月31日
- ・研究対象： 2019年9月15日～ 2020年9月14日

- ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

- ・ ACSの患者背景(年齢、性別、心血管疾患リスク、血液検査、心臓超音波検査)
- ・ 心筋梗塞の状況（ピーク CK 値、冠動脈の病変罹患数）
- ・ 1年後、2年後の腎機能
- ・ 心血管イベント（全死亡、心不全、脳卒中、再血行再建）

- ③ 利用する者の範囲

- ：心臓内科 （役職） 教授 中埜信太郎
- 心臓内科 （役職） 講師 湯手 庸道
- 心臓内科 （役職） 教授 荒井 隆秀
- 心臓内科 （役職） データマネージャー 筒井 達也

- ④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- ： 中埜 信太郎